

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年8月2日（水）

2 確認箇所

日本海溝津波防潮堤設置工事現場（1～4号機東側、4号機南側）

3 確認項目

日本海溝津波防潮堤設置工事の状況

4 確認結果の概要

令和2年4月、内閣府「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」が日本海溝津波の発生が切迫していると評価したことを踏まえ、東京電力では、T.P. 11.8m規模と想定される日本海溝津波に対応する、日本海溝津波防潮堤の設置を進めている。

本日は、日本海溝津波防潮堤工事（1～4号機東側、4号機南側）の状況について確認を行った。（前回確認：[令和5年5月25日](#)（4号機南側）、[5月9日](#)（1～4号機東側））（図1）

（1～4号機東側）

- ・ 1号機タービン建屋東側の防潮堤北端及び4号機タービン建屋東側の防潮堤南端において、テールアルメ工法による防潮堤の構築作業が進められていた。（写真1）
- ・ 2号機タービン建屋東側において、防潮堤構築のため重機を用いて石炭灰混合資材（アッシュクリート）の均し作業が行われていた。

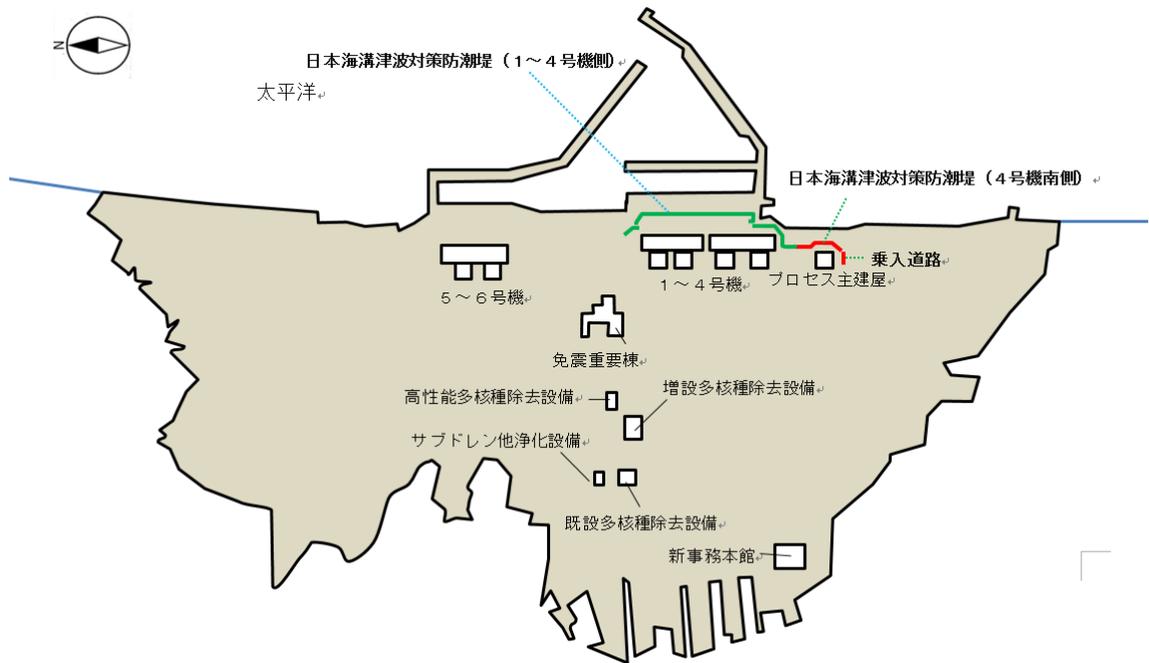
（写真2）

- ・ 3号機タービン建屋東側において、防潮堤内が海水で浸水した場合に海水を海側へ排水するためのフラップゲートが設置されていた。

（写真3）

（4号機南側）

- ・ 防潮堤を構築するため、クレーンを用いて防潮堤上部にコンクリート壁を運搬する作業が行われていた。（写真4）
- ・ 防潮堤の上部は道路となる予定となっており、この道路にアクセスするための乗入道路の設置が進められていた。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
テールアルメ工法による防潮堤構築
作業の状況①
(1号機タービン建屋東側)
(北側から撮影)



(写真1-2)
テールアルメ工法による防潮堤構築
作業の状況②
(4号機タービン建屋東側)
(北側から撮影)



(写真2)
重機による石炭灰混合資材（アッシュクリート）の均し作業の状況
（2号機タービン建屋東側）
（南側から撮影）



(写真3)
フラップゲートの設置状況
（3号機タービン建屋東側）
（南東側から撮影）



(写真4-1)
防潮堤の構築作業状況①
（プロセス主建屋東側）
（北側から撮影）



(写真4-2)
防潮堤の構築作業状況②
（プロセス主建屋東側）
（南側から撮影）



(写真5)
乗入道路の整備状況
(プロセス主建屋南側)
(東側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。